



エピソード

ホースから砂場に向かって水を流していた子ども達は水のかで砂が削れ、穴ができることに気がきました。そこに灯油ポンプを見つけてきた子ども達がやってきて灯油ポンプを使おうとホースに繋げました。灯油ポンプに計量カップでそっと水を入れ、「いくよー」と、ポンプを押し始めました。砂場にいた子どもに「水出てる?」と尋ね、砂場の方から「水が出てきたよ」と声が聞こえました。「流れてきたって」と保育者が間で伝えると、ホースから水が出てくる様子を砂場の方へ見に行き、砂の削れ具合を確認していました。保育者が「削れた?」と尋ねるとポンプの近くにいた友達に「少しずつ穴が大きくなってるよ」と、嬉しそうに伝え、また水を流しに戻っていきました。繰り返し水を流し、「さっきより削れてるよ」「もっといっぱい水を流してみて」と、砂場にいる友達に声を掛けながら遊んでいました。

保育者の思い

- ・子どもの気付きに共感し、子ども達が次にしようと考えていることを見守るようにしました。
- ・必要に応じて少し離れた友達との会話を伝えながら、友達とやり取りをしている姿を見守りました。
- ・確認したことを近くにいた友達にも伝えられるようになってほしいという思いから、尋ねたり、橋渡しをしたりしました。

子どもの育ちや学び

- ・水のかで砂が削れることに気がきました。
- ・少し離れたところにいる友達と声を掛け合うことで、距離があっても同じ遊びを楽しむ姿が見られました。
- ・水の流れてくる様子を何度も確認しながら、どのような状況になっているのか、自分なりの言葉で説明する姿がありました。

家庭だったら・・・

生活の中でも欠かせない水。今回は、水のかで土を削ることができると気がきました。水はいろいろな所にも使われ、力を発揮しています。水は、どんな所で活躍しているのか、水のかの凄さと怖さもあることなど家庭でも話をしてみてください。